

総務民生常任委員会行政視察報告書

総務民生常任委員会
委員 三輪 徹

■草加市認知症検診事業

- 日 時 平成 29 年 11 月 7 日
- 草加市の概要 人口 247,481 人 高齢化率 23.9% 後期高齢者の割合 10.6%
- 認知症検診事業
1. 目的 認知症の早期発見、早期治療につなげることを目的とする
 2. 対象 草加市に住所がある 60 歳の方及び 65 歳以上の方
 3. 受診方法 草加市及び八潮市の指定医療機関で備え付きの「脳の健康度直接チェック票」に記入し、医師の問診を受け、より詳しい検査が必要な状態と判断した場合には、2 次医療機関につなげる。健康保険証、お薬手帳が必要
 4. 概要 費用 無料
医療機関に支払う委託料
脳の健康度チェック票 1 件につき 1,000 円
精密検査報告書 1 件につき 500 円
 5. 開始経緯 平成 25 年 4 月草加八潮医師会内に認知症検診準備委員会が設置され、市との連携の必要性が求められた。7 月独自の認知症検診チェック票を作成することが決まる。平成 26 年 4 月医師会と契約。6 月事業開始
 6. 周知方法 広報「そうか」及び公共施設、医療機関へのポスター
 7. 実績 26 年度 指定医療機関 草加市八潮市 50 か所
受診者数 1,695 人 (受診率 6.3%)
決算額 197,1,966 円
27 年度 指定医療機関 草加市八潮市 64 か所
受診者数 1,864 人 (受診率 6.6%)
決算額 2,095,103 円
28 年度 指定医療機関 草加市八潮市 62 か所
受診者数 2,349 人 (受診率 4.0%)
決算額 2,897,519 円
 8. 課題 受診率の向上
認知症検診実施後の指定医療機関と 2 次医療機関とのスムーズな連携
認知症検診の結果を地域包括支援センター等の地域の社会資源と情報共

有し、連携した支援

9. 感想 人口の減少、少子高齢化が急速に進む中、病気の予防及び早期発見に努めることは医療費の削減並びに家族の負担軽減につながるものである。受診率については、地方都市ならではの自治会単位での集団受診を促せばさらに向上するのではないか。本市（高齢化率 39.7%）こそ認知症検診について取り組みを早急に考えていかなければならない

■稲城市市民活動ポイント制度

日 時 平成 29 年 11 月 8 日

稲城市の概要 人口 89,344 人 世帯数 39,035 世帯 高齢化率 18.8% (H25 年)

稲城市市民活動ポイント制度

1. 目的 ポイント配布を通して、様々な社会貢献活動への市民参加の支援を図ることで、市民に地域への関心を持っていただき、活動への理解と参加を広げながら地域社会の活性化を図る
2. 対象 市内在住小学生以上の方
3. 概要
 1. 手帳の受け取り
 2. 対象事業へ参加
 3. ポイントの受け取り（1回の活動につき1ポイントを付与。手帳にスタンプ押印、またはシール添付）
 4. ポイントの還元（10ポイント貯まると現金1,000円と交換、但し単年度1回まで）
 5. 29年度予算 800,000円
4. 対象事業
 1. 市民と市が協働して行うものであること
 2. 社会貢献活動を促進するものであること
 3. 市民の公平性が確保されるものであること
 4. 事業計画に沿い安定して実施できるものであること
 5. 政治又は宗教に関わることがなく、且つ公序良俗に反しないものであること以上をもとに、提出された申請に基づきポイント制度審査会での審査結果を踏まえ対象事業を決定する。
5. 課題 事業により活動頻度に差があり、ポイント付与に差がつく
屋外活動の場合雨天中止の場合がある
ポイントを貯めるためにボランティアをしているのではないという声がある。一方ポイントを貯める喜び、社会貢献活動の励みになるという声もある

6. 感想 市民協働への関心を深め、参加者を増やす一つの方法である。特定の人だけがいつも参加するのではなく、消費時にポイントを付与することによって購買意欲を駆り立てるのと同様に、無関心層の取り込みにつながるかも知れない。但しポイントを貯めるためにボランティアをしているのではないという層が反発しないよう配慮が必要になってくる。本市でも草刈り、海岸清掃等誰でも参加できる事業がある。付加価値をつけることによってさらに参加が増えるのであれば一考する価値あり